

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 宮崎市社会福祉事業団

目 次

1	事業概要	1
2	理事会・評議員会・監査等	8
3	組織図・業務詳細	10
4	職種別職員数・役員数	11
5	部門別事業報告	12
6	その他	48
	別添資料 令和4年度 宮崎市総合発達支援センター 利用状況について (月別)	55

1 事業概要

新型コロナウイルス感染症が宮崎県内で確認され約3年。

5 未曾有の中、これまで当事業団では、施設利用児者の命を最優先に、予防対策や行動基準の更新など徹底した感染拡大防止策を講じ、安全安心の確保と福祉サービスの継続に努めてきました。

また、これからの社会環境の変化や各種法令に対応する事業展開を見据え、財務強化や職員体制整備など、令和5年度以降の安定した経営基盤づくりに力を注ぎました。

10

(1) 運営施設・事業

宮崎市総合発達支援センターをはじめ各事業の管理を強化するために、法人本部（本部事務局）を宮崎市保健所内から宮崎市総合発達支援センター別館へ移転（令和5年1月23日）しました。

15

宮崎市が設置する合計17福祉施設の指定管理者として、またそれらの施設を拠点にした福祉事業の受託者として、適正な職員配置、施設の安全管理の徹底、福祉サービスの質の向上を図り、健全経営に努めました。

指定管理施設	宮崎市総合発達支援センター 1施設
	宮崎市児童館・児童センター 12施設
	宮崎市老人福祉センター・老人いこいの家 4施設 (赤江運動広場含む)
主な受託事業	宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター事業ほか
	宮崎市児童クラブ運営業務 4箇所
	宮崎市巡回児童館運営業務
	宮崎市ハロー・キッズルーム運営業務

20

宮崎市総合発達支援センター機能拡充工事（建築主：宮崎市）に年間を通して協力を行い、診療部、障がい児・障がい者通所部及び地域生活支援部の施設整備を行いました。また、宮崎市児童館・児童センター11か所の空調設備新設についても宮崎市へ協力し早期の設置を実現しました。

(2) 宮崎市総合発達支援センター

障がいのあるお子さまとご家族に対し、適切な支援を行う総合的な療育の拠点となるよう施設の運営に努めました。

5

ア 総合診療所

様々な障がいやその疑いのある就学前児童を中心に診断、検査を行い、総合的な評価に基づく治療、訓練、療育指導等を行いました。

10

利用状況

	令和3年度	令和4年度	前年度 対比	主な増減要因
外来診療 受診者数 (延べ人数)	12,204人	11,592人	95.0%	・新型コロナウイルス感染症拡大防止による診察の延期等
機能訓練 利用者数 (延べ人数)	9,481人	9,203人	97.1%	・新型コロナウイルス感染症拡大防止による機能訓練の延期等

イ 児童発達支援センター すぴか

就学前の運動機能に障がいのある児童や発達に障がいのある児童を対象に、家庭と連携した療育体制づくり（保護者面談、親子保育、保護者学習会など）を図りながら、遊びを中心に据えた療育、摂食・嚥下指導、集団保育による生活全般への支援を行いました。

15

利用状況

	令和3年度	令和4年度	前年度 対比	主な増減要因
契約児数 (最多)	45人	40人	88.9%	・新型コロナウイルス感染症の影響による利用希望者の減
年間延べ 利用人数	8,925人	7,444人	83.4%	・契約児数の減少 ・新型コロナウイルス感染症の感染者発生による自宅待機及び休園

ウ 生活介護事業所 宙（そら）

- 5 利用者やその家族に対するモニタリングやアセスメント（個別面談やアンケート）により、様々なニーズを把握し、日中活動の計画及び提供に反映させ、支援の充実を図りました。また、重度の障がいがある在宅者を対象に、活動や行事を通して利用者間の交流や仲間づくりを通して、充実した生活の場を提供しました。

利用状況

	令和3年度	令和4年度	前年度 対比	主な増減要因
契約者数 (最多)	45人	45人	100.0%	・新型コロナウイルス感染症拡大予防策を講じながら前年度契約者数を維持
年間延べ 利用人数	4,072人	4,176人	102.6%	・前年度契約者数の維持 ・稼働日数の増加

10 エ そうだんサポートセンター おおぞら

オ 宮崎市そうだんサポートセンター すびか

- 15 そうだんサポートセンター おおぞらにおいては、①障がい児者に対する家庭訪問、面接及び電話等による相談、②福祉保健医療サービスに関する調整や情報提供等、③訪問による学校、幼稚園及び保育所等の支援など、相談支援機関として中核的役割を担いました。

宮崎市そうだんサポートセンター すびかでは、児童発達支援センターすびかの利用児やそのご家族を中心に、アセスメントを通して障がい児支援利用計画の作成及びモニタリングを実施しました。

20 実施事業

	事業内容	従事者
宮崎市委託	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター事業 宮崎市障がい児等療育支援事業 宮崎市医療的ケア児等支援事業 宮崎市小中学校医療的ケア児支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員 子育て相談員 医療的ケア児等コーディネーター
宮崎市指定管理	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て相談員
自主事業 (宮崎市指定)	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談支援事業及び障がい児相談支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員

自主事業としてサービス等利用計画及び障がい児支援利用計画を作成し、法人の財務基盤安定に繋がりました。

	令和3年度	令和4年度	前年度 対比
サービス等利用計画	2,157千円	1,841千円	85.4%
障がい児支援利用計画	6,588千円	5,400千円	82.0%

5

カ その他

支援センターでの内部連携、医療福祉教育機関との外部連携に取り組み、より一層の支援の充実を図りました。

	主な連携先	主な内容
内部連携	診療所—障がい児通所部 診療所—障がい者通所部 診療所—地域生活支援部	<ul style="list-style-type: none"> ・すびか障がい種別保育 ・給食時の摂食嚥下指導 ・作業療法室での協働保育活動 ・理学療法士の定期サポート ・療育等支援事業
	障がい児通所部—地域生活支援部	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児利用計画に関する調整 ・サービス利用計画に関する調整
外部連携	宮崎大学医学部附属病院 国立病院機構宮崎東病院 宮崎県立宮崎病院 宮崎県発達障害者支援センター 宮崎県中央福祉こどもセンター 宮崎県障がい福祉課 宮崎市保健所 宮崎県・市教育委員会 市内小中学校・支援学校 市内幼稚園・保育所 児童発達支援事業所 障がい福祉サービス事業所 民間医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児者に関する情報共有、紹介 ・乳幼児や学齢期児童への支援 ・医療的ケア児等コーディネーター養成等事業への講師派遣 ・母子保健事業（乳幼児健康診査、すこやか広場、ちびっこランド） ・新型コロナウイルス感染症関連 ・医療的ケア児等の支援 ・研修の講師派遣 ・就学相談委員会への職員派遣 ・就学予定児童の引継ぎ ・利用児者に関するケース会議 ・運営に関する情報交換 ・利用全般に関する調整 ・民間医療機関への職員派遣

(3) 宮崎市児童館・児童センター 12施設

5

地域の児童を対象に、安全で安心な遊び場を提供し健全育成を図るとともに、子育て家族への支援や地域の子育て環境づくりに貢献する施設として、遊びの指導提供、行事開催、自然体験活動及びボランティア活動等を行いました。

また、地域における子育て親子の交流等を促進する「子育て交流ひろば」、保健師、助産師及び児童厚生員による定期的な「子育て相談」、高齢者との交流事業による地域との連携強化に重点を置いた「生き生き地域活動応援事業」の充実を図りました。

10

指定管理運営対象 12施設

児童館	霧島、恒久、栄町、大島、倉岡、本郷
児童センター	大塚台、西原、平和が丘、櫛、木花、大塚

利用状況

	令和3年度	令和4年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	74,300人	94,489人	127.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大予防策を講じながら行事等を再開 ・利用制限の緩和 ・稼働日数の増加
コロナによる 休館日数	66日	0日	—	—

15

(4) 放課後児童健全育成事業

児童クラブでは、小学校や地域と連携し、放課後児童の適切な健全育成に努め、多様な保護者のニーズに対応しました。

20

巡回児童館では、地理的な理由で児童館利用が困難な地域の自治公民館等へ児童厚生員が遊具を持って巡回し、遊びを提供しました。

ハロー・キッズルームでは、小学校内に拠点を置いて児童館に準じた遊び場を提供しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宮崎市の判断により18日間休業しました。

事業の拠点

児童クラブ	倉岡（児童館内）、倉岡第二（小学校内） 住吉（小学校内）、住吉第三（小学校内）
巡回児童館 ※1 地区あたり週 1 回	小松台、住吉南、大宮、宮崎南、学園木花台、広瀬北、 高岡、七野、国富、穆佐 の各小学校区
ハロー・キッズルーム	大淀（小学校内）

利用状況

	令和 3 年度	令和 4 年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	39,982 人	45,377 人	113.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大予防策を講じながら行事等を再開 ・利用制限の緩和 ・稼働日数の増加
コロナによる 休業日数	67 日	18 日	26.9%	—

5

（５）宮崎市老人福祉センター・老人いこいの家 4 施設

10 地域の高齢者を対象に、相互の信頼・親睦を深め、老後の生きがいを感じることができるよう、趣味、娯楽、教養、健康づくりに関するサークル活動やレクリエーション活動、入浴、健康機器設置、健康に関する相談・教室等のサービス提供を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宮崎市の判断により 4 1 日間休館しました。

15 指定管理運営対象 4 施設

老人福祉センター	南部、赤江（赤江運動広場含む）
老人いこいの家	住吉、古城

利用状況

	令和3年度	令和4年度	前年度 対比	主な増減要因
年間延べ 利用人数	36,123 人	45,348 人	125.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大予防策を講じながら行事等を再開 ・利用制限の緩和 ・稼働日数の増加
コロナによる 休館日数	108 日	41 日	38.0%	—

(6) 本部事務局

5 法人の総合的な企画調整、人事、財務を担い、主に施設及び事業運営の総括的管理、労務管理、事業計画及び予算決算業務、理事会及び評議員会等の開催など、法人運営の中核として適正かつ効率的な業務を遂行しました。

10 また、部門長会議（宮崎市総合発達支援センター）、館長・所長会（児童館児童センター、老人福祉センター等）など、内部の重要会議において情報提供、問題提起及び意思決定の調整にあたりました。

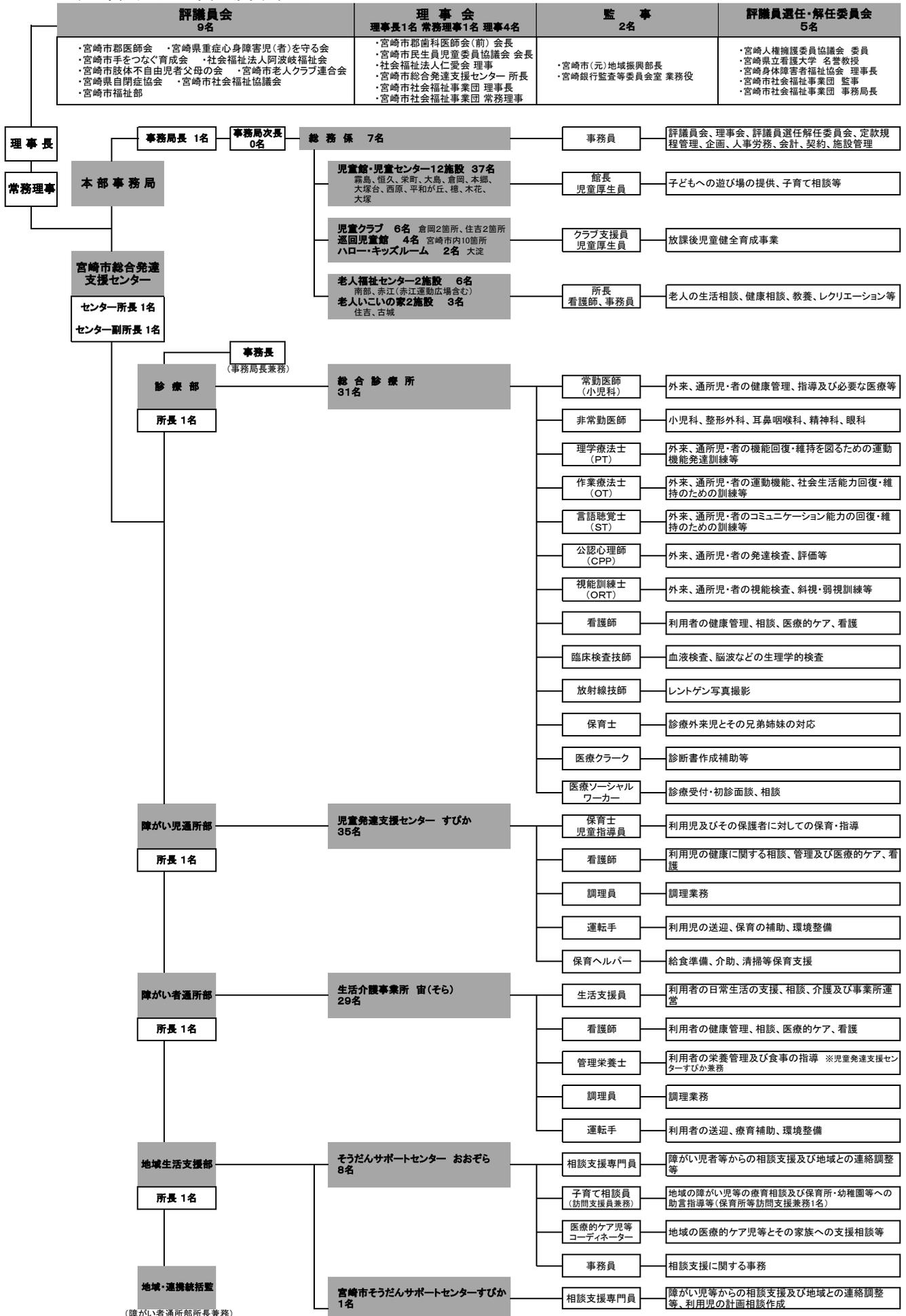
2 理事会・評議員会・監査等

月 日	区 分	議 題
4.5.13	監事監査	令和3年度事業報告、計算書類及び財産目録の監査
4.6.1 提案 4.6.3 決議	第1回 理事会 (決議省略)	議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度決算並びに財産目録等について（監査報告） 議案第3号 令和4年度第一次次資金収支補正予算（案） 議案第4号 そうだんサポートセンターおおぞら（特定相談・障がい児相談支援）運営規程に関する施行日の訂正について 議案第5号 役員の選任候補者について 議案第6号 役員等賠償責任保険について 議案第7号 定時評議員会の招集について
4.6.20	第1回 評議員会	議案第1号 令和3年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 議案第2号 理事及び監事の選任について 報告第1号 令和3年度 事業報告について
4.6.20	第2回 理事会	報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 理事及び監事の就任について 議案第1号 令和4年度第二次資金収支補正予算（案）について 議案第2号 職員給与規程の一部改正について 議案第3号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第4号 再雇用職員就業規程の一部改正について 議案第5号 経理規程の一部改正について 議案第6号 常務理事の選定について 議案第7号 評議員選任・解任委員会委員の選任について
4.6.24 提案 4.6.28 決議	第3回 理事会 (決議省略)	議案第1号 組織及び事務分掌規程の一部改正について 議案第2号 定款施行細則の一部改正について 議案第3号 事務決裁規程の一部改正について 議案第4号 旅費規程の一部改正について 議案第5号 施設の長他の重要な職員の選任について
4.9.27 提案 4.9.27 決議	第4回 理事会 (決議省略)	議案第1号 育児休業規程の一部改正について 議案第2号 保育所等訪問支援事業運営規程の一部改正 議案第3号 評議員選任候補者の推薦について 議案第4号 評議員選任・解任委員会の招集について
4.10.5	第1回 評議員選任 解任委員会	報告第1号 評議員選任・解任委員会委員の辞任並びに就任について 議案第1号 評議員の選任について
5.1.10 提案 5.1.10 決議	第5回 理事会 (決議省略)	議案第1号 令和4年度第三次資金収支補正予算（案）について 議案第2号 定款の一部改正について 議案第3号 契約職員就業規程の一部改正について 議案第4号 評議員会の招集について

月 日	区 分	議 題
5.1.12 提案 5.1.12 決議	第2回 評議員会 (決議省略)	議案第1号 定款の一部改正について
5.3.10	第6回 理事会	議案第1号 令和5年度事業計画(案)について 議案第2号 令和5年度資金収支予算(案)について 議案第3号 令和4年度第四次資金収支補正予算(案)について 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 宮崎県及び宮崎市指導監査の結果及び改善事項について
5.3.27 提案 5.3.27 決議	第7回 理事会 (決議省略)	議案第1号 組織及び事務分掌規程の一部改正について 議案第2号 定款施行細則の一部改正について 議案第3号 事務決裁規程の一部改正について 議案第4号 印章規程の一部改正について 議案第5号 旅費規程の一部改正について 議案第6号 職員被服貸与規程の一部改正について 議案第7号 福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について 議案第8号 再雇用職員就業規程の一部改正について 議案第9号 児童福祉法に基づく宮崎市そうだんサポートセンターすぴか運営規程(指定障がい児相談支援事業)の一部改正について 議案第10号 施設の長他の重要な職員の選任について

3 組織図・業務詳細

令和5年3月31日現在 役員等22名、職員総数176名



4 職種別職員数・役員数

令和5年3月31日現在 単位:名

所属	宮崎市総合発達支援センター																																
	センター副所長 センター所長	診療部													障がい児通所部				障がい者通所部														
		医師 小児科	医師 小児科	医師 整形外科	医師 耳鼻咽喉科	医師 精神科	医師 眼科	理学療法士(P.T)	作業療法士(O.T)	言語聴覚士(S.T)	公認心理師(C.P.P)	視能訓練士(O.R.T)	看護師	臨床検査技師	放射線技師	保育士	医療クラーク・医療ソーシャルワーカー	障がい児通所部所長	保育士・児童指導員(児発管含む)	看護師	管理栄養士 ※障がい者通所部兼務	調理員	運転手	保育ヘルパー	障がい者通所部所長 ※地域連携統括兼務	生活支援員(サビ管含む)	看護師	管理栄養士 ※障がい児通所部兼務	調理員	運転手			
正職	1	1	1				3	3	3	4	1	1						12	2						1	7	2	1					
契約										1			1			2		3								4	2						
嘱託															1			9				2	4	2		4	2		1	5			
再雇用									1								1																
臨時									1					1								1								1			
非常勤			3	1	2	1	1																										
合計	1	1	1	3	1	2	1	1	3	4	4	5	1	1	1	1	2	1	24	2					3	4	2	1	15	6	1	1	6
	2		32													36				30													

所属	宮崎市総合発達支援センター										児童館 放課後	老人センター 老人いこい	本部事務局	合計	
	地域生活支援部														
職種	地域生活支援部所長	相談支援専門員(そうだんおおぞら)	相談支援専門員(そうだんすびか)	子育て相談員	医療的ケア児等コーディネーター	地域生活支援部事務職員	児童館・児童センター館長	児童厚生員・児童支援員	老人施設所長	老人施設事務職員	老人施設保健師(看護師)	事務局次長	事務局職員	合計	
正職	1	4		1	1							1	3	54	
契約			1	1					1					16	
嘱託						1	12	35	3	4	1		4	90	
再雇用														2	
臨時											2			6	
非常勤														8	
合計	1	4	1	2	1	1	12	37	3	5	1	1	0	7	176
	10					49			9			8			

	役員等						合計
	評議員	理事			監事	評議員連任・兼任委員・監事・事務局次長	
		理事長	常務理事	その他理事 ※センター所長再掲			
常勤		1	1				2
非常勤	9		4	2	5		20
合計	9	1	1	4	2	5	22
	6						

5 部門別事業報告

法人本部

1. 《運営方針》

事業団の経営理念である「人としての尊厳を重んじる姿勢」を念頭に将来のビジョンを明確化し、社会福祉の動向分析、事業目標の立案、職員の意思統一、具体的方策の実行管理を実現化することで経営基盤を強化するとともに、乳幼児から高齢者まで一貫した共生社会の推進に取り組む。

2. 重点目標

	項目	目標年度					実績
		R3	R4	R5	R6	R7	
(1)	経営戦略の策定、遂行						<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市総合発達支援センターの機能強化に伴う予算編成及び体制整備着手並びに機能拡充工事による施設整備への協力 法人ホームページのリニューアル完成
(2)	事業計画の実行、達成						<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市総合発達支援センター増員に伴う採用試験実施 児童館等、老人福祉センター等の「あり方検討会議報告書」完成と事業展開の検討並びに統括マネージャー配置や助産師の子育て相談による運営の底上げ実施
(3)	人材育成、人事管理の強化						<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市総合発達支援センター職員の雇用形態向上 労働法令改正による規程整備並びに事務手続きの実施 休憩の適正取得や時間外勤務の縮減を検討、実施 職員の個別面談及び個別意向調査の実施 勤怠管理システムの再検討
(4)	リスク管理への取り組み						<ul style="list-style-type: none"> 各種防災訓練、備蓄品の充実、多世代による地域連携防災の取り組み 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策並びに陽性者及び濃厚接触者発生時の迅速且つ適切な対応、施設間での横断的な応援体制 旧宮崎市郡医師会病院解体での影響を抑制

3. 重点施策・事業（実施項目）

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【第二次中期経営計画の遂行】</p> <p>① 第二次中期経営計画の事業戦略として、令和5年度以降の宮崎市総合発達支援センター機能強化を検討し、予算編成や体制整備等に着手しました。</p> <p>② 第二次中期経営計画の財務情報戦略に掲げる「財産の活用」として、宮崎市総合発達支援センター機能拡充工事（建築主：宮崎市）の完成に協力を行い、診療部の作業療法室増設や診察室の防音強化、通所部の機能改善（面談や会議等を目的とした多目的室の新設、トイレ増設など）、地域生活支援部の相談室増設や職員室拡充、災害用の備蓄品倉庫新設など、利用児者及び職員の処遇改善につながる施設の整備に尽力しました。</p> <p>③ 第二次中期経営計画の経営目標に掲げる「イメージ向上」として、法人ホームページをリニューアルし、10月に完成しました。</p>
(2)	<p>【事業計画の執行】</p> <p>① 令和5年度の事業運営を見据えた体制強化として、児童発達支援センターすびか及び地域生活支援部の増員等を図るために採用試験を実施しました。</p> <p>② 児童館等並びに老人福祉センター等の運営における現状、課題、更には対応策をまとめた「あり方検討会議報告書」が完成し、各施設での事業展開や実践に向け検討を行いました。</p> <p>③ 児童館・児童センター運営のサポート役として配置した「統括マネージャー」に本部事務局職員も同行し、施設の巡回を通して運営の底上げを行いました。また、子育て相談には助産師を加え、乳幼児の保護者を中心に利用拡大を図りました。</p>
(3)	<p>【職員処遇の充実】</p> <p>① 宮崎市総合発達支援センターの非正規職員を正規職員へ転換するなど雇用形態の向上を行い、事業運営の安定化と労働意欲の向上を図りました。</p> <p>② 出生時育児休業（産後パパ育休）の創設や育児休業の分割など、育児・介護休業法の改正に対応した規程整備を行い、休業が取得しやすい職場の推進に取り組みました。</p> <p>③ 年金法改正による社会保険適用拡大に伴い、対象職員への周知、面談を実施し、職員の希望に沿うよう労働契約の変更や事務手続きを行いました。</p> <p>④ 休憩の適正な取得や時間外勤務の縮減について改善を検討し問題解決に努めました。</p> <p>⑤ 個別面談や個別意向調査を実施し、退職者の欠員補充、年次有給休暇等の取得促進、生活環境に合わせた配属先の異動調整など、働きやすい職場の環境づくりに取り組みました。</p> <p>⑥ 勤怠管理システムについて再検討を行い、令和5年度導入に向けた準備を行いました。</p>

(4)	<p>【リスク管理体制の構築】</p> <p>① 宮崎市総合発達支援センターにおいては、防災委員会を中心に各種防災訓練を実施しました。また、災害用の備蓄品倉庫新設に伴い備蓄食料や防災用品の充実を図りました。</p> <p>児童館・児童センターにおいては、多世代による地域連携防災に取り組みました。</p> <p>② 安全安心な施設利用のために、年間をとおして新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めました。</p> <p>宮崎市総合発達支援センターでの陽性者及び濃厚接触者等の発生時においては、宮崎市と密に連携を取り合いながら、迅速且つ適切な対応（施設の利用調整、接触リスト作成、PCR 検査の集団実施など）に全力を注ぎました。</p> <p>また、児童館・児童センターでは、自宅待機等により生じた勤務職員不足の解消を全館職員で連携し、施設間を横断した応援体制で滞りなく運営を継続しました。</p> <p>③ 旧宮崎市郡医師会病院の解体工事期間中、宮崎市郡医師会と情報交換等の連携を重ね、騒音や振動等による宮崎市総合発達支援センターへの影響を最小限に抑えました。</p>
-----	---

宮崎市総合発達支援センター

【 診 療 部 】

1. 《運営方針》

出生から受診までの流れを整理することによって、障がい児・者やその家族等に対し、障がいが疑われる段階から適切な時期に必要な支援を実施できるよう、相談、診療、訓練等の円滑な調整や質の向上を目指す。

また専門的な知識、スキルを活かし、地域の関係機関との連携・支援・情報発信の充実を図る。

2. 重点目標

	項 目	目標年度					実 績
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
(1)	受診時期の適正化を図る。						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により初診待機期間短縮は未達 ・初診前相談、診療部内職員研修は達成
(2)	関係機関との連携強化と新たな支援の創出を図る。						<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市、国富町、綾町の保健師と発達支援等の情報交換会を実施 ・すこやかひろば、3.6 健診等外部へ職員派遣 ・健診検討会に2回参加
(3)	地域への情報発信を図る。						<ul style="list-style-type: none"> ・おおぞらセミナーを Zoom で実施 ・ホームページの更新(年4回)

3-1. 重点施策・事業（実施項目）

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【受診時期の適正化】</p> <p>① 受診前の家族に対する相談支援について、公認心理師、言語聴覚士で実施しました。</p> <p>② 適切な時期に適切な支援が受けられるよう1歳6カ月児健診担当の宮崎市の保健師、国富町及び綾町の保健師、宮崎市教育委員会等と話し合いを行いました。</p> <p>③ 診療部内の研修を11回実施し、職員の資質向上に努めました。</p>

(2)	<p>【関係機関との連携強化と各種ニーズに応じた新規事業の創出】</p> <p>① 宮崎市保健所のすこやかひろば担当職員との運営会議（2回）、健診検討会への参加、理学療法士による学校支援、作業療法士や言語聴覚士による支援者向け研修会の講師派遣など、地域との連携強化を図りました。</p> <p>② 不要となった補装具の調整及び管理を行い、必要とされる方々を対象に当該品の貸し出しを新規で開始しました。</p>
(3)	<p>【地域への情報発信】</p> <p>① 「OT だより」「ST だより」を年間各 2 回ホームページに掲載し、ご家族等に役立つ情報発信を実施しました。</p> <p>② 幼児期の発達支援に直接関わっている地域の関係機関等を対象に「おぞらセミナー」を Zoom で実施しました。</p>

○相談・調整業務

1) 来所・電話等内訳 (年間累計件数)

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
来 所	3 6 8	3 5 3	3 8 7
電 話	6 4 7	7 6 2	6 3 2
そ の 他	0	0	0
合 計	1, 0 1 5	1, 1 1 5	1, 0 1 9

2) 内容内訳 (年間累計件数)

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
診 療 予 約	3 3 2	3 4 7	3 5 2
初 診 時 面 接	3 1 2	3 0 2	3 1 2
医療・福祉支援策等	1 7 9	2 3 5	1 7 7
他 機 関 ・ 施 設	8 1	1 1 8	9 3
学 校 生 活	2 5	3 4	3 2
家 庭 生 活	3 6	2 3	2 2
地域生活支援策	5 0	5 5	3 1
そ の 他	0	1	0
合 計	1, 0 1 5	1, 1 1 5	1, 0 1 9

3) 経路内訳

(年間累計件数)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医療機関	139	150	169
保健所	265	324	261
児童相談所	6	7	3
学校(教育機関含む)	53	77	37
保育所・幼稚園等	90	92	62
福祉施設	47	84	116
テレビ・新聞 インターネット等	59	78	105
知人・親の会	21	18	17
利用者	268	269	246
その他	67	16	3
合計	1,015	1,115	1,019

3-2. 担当業務別 重点施策・事業（実施項目）

【 外来 】

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【特殊外来における課題解決】</p> <p>① 精神科…院内小児科からのコンサルテーションケースの初診を2件受け入れました。また、転居に伴う他院への紹介を2件行いました。</p> <p>② 整形外科…予約枠の調整並びに診察とX線撮影補助を担当する職員との連携により、待機期間の短縮や診察時間の効率化を図りました。</p> <p>③ 耳鼻咽喉科…他医療機関で受診が困難な方の処置を継続的に行いました。また、難聴、吃音、発音などに関する相談に対して評価や助言を行いました。</p> <p>④ 眼科…視能訓練欄に記載。</p>
(2)	<p>【診療録保管場所の検討】</p> <p>① プレハブ改修（宮崎市施行）により、診療録保管場所を拡充しました</p> <p>② DX（デジタルトランスフォーメーション）環境整備による電子カルテ、診療報酬オンライン請求などの導入に向け、準備を開始しました。</p>
(3)	<p>【新たなサービスの検討】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、「電話再診」についての検討を延期しました。</p>

(年間累計人数)

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
発達外来	初診	306	298	307
	再診	10,699	10,831	10,353
整形外科	初診	0	0	0
	再診	327	264	264
精神科	初診	0	0	0
	再診	116	158	122
耳鼻咽喉科	初診	1	3	0
	再診	50	58	16
耳鼻咽喉科 (難聴)	初診	20	18	28
	再診	255	243	188
眼科	初診	0	1	2
	再診	368	330	312
合 計	初診	327	320	337
	再診	11,815	11,884	11,255
合 計		12,142	12,204	11,592

【視能訓練】

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【眼科患者の整理】 23名に対し、定期的な診察の終了もしくは他医療機関を紹介し、待機2～3か月を1か月に短縮することができました。</p>
(2)	<p>【検査技術及び知識の向上】</p> <p>① 他医療機関で評価が困難な5名に対し、支援センター眼科での必要な検査から視能訓練へつなぎ、早期治療を行いました。</p> <p>② Web開催での学会（2回）に参加し、小児眼科での最新トピックスについて知識を深め、眼科医療に関する情報を診療部で共有しました。</p>
(3)	<p>【他の機関と連携強化】</p> <p>① 宮崎市保健所の3歳6か月健診に視能訓練士を17回派遣しました。</p> <p>② 宮崎大学医学部附属病院から3名の患者の受け入れについて要請があり、眼科で協力をしました。</p> <p>③ 他医療機関へ患者紹介をする際、診療情報提供書の中で発達障がいに対する検査方法や対応の工夫を記載し啓発に努めました。</p>

(年間累計人数)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価	78	76	63
訓練	571	505	487
合計	649	581	550

【理学療法】

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【職員の資質と支援技術の向上】</p> <p>① 宮崎県理学療法士会と協働し、研修会1回、連携会議3回を実施し、同じ理学療法の専門職として連携強化を図りました。</p> <p>② 施設外研修への参加(Web開催31回)や、各自で取得した認定資格の更新など自己研鑽に努め、支援技術の向上を図りました。</p>
(2)	<p>【支援センター内および関係機関との連携】</p> <p>① 児童発達支援センターすびか及び生活介護事業所宙(そら)への支援内容を充実するために、備品の共有や、「重症心身障がい者に対する姿勢管理」について職員研修を実施しました。</p> <p>② 地域生活支援部の要請に応じて施設支援、訪問指導に取り組みました(月平均:1~2件)。</p> <p>③ 地域生活支援部からの要請を受け、補装具の作り直しに関する相談支援を実施しました。</p> <p>④ 保健、医療、福祉、教育機関と連携し、学童期の事例に対する支援の充実を図りました(訓練場面での情報共有8件、電話やメール等による情報共有16件、支援会議への参加2件、学校主催のケース会議への参加2件)。</p>
(3)	<p>【医療的ケア児等への支援に関する取り組み】</p> <p>① 「宮崎県医療的ケア児等支援者・コーディネーター養成研修」の講師として『医療的ケアが必要な子どもたちの発達支援について』をテーマに講義を担当しました。</p> <p>② 障がい児相談支援の勉強会(宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター主催)の講師として、医療的ケア児の支援に求められる知識や相談支援の関わりについて講義を担当しました。</p> <p>③ 医療的ケア児等支援事業へ協力し、関係機関との情報共有や訪問による相談支援を実施しました。</p>
(4)	<p>【新規事業への取り組み】</p> <p>不要となった補装具の調整及び管理を行い、必要とされる方々を対象に当該品の貸し出しを開始し、22件の利用がありました。</p>

(年間累計人数)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価	36	28	44
訓練	2,540	2,552	2,595
合計	2,576	2,580	2,639

【作業療法】

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【ニーズに応じた作業療法支援体制の新たな構築】</p> <p>① ニーズに対応した支援を計画し、目的別生活支援を実施しました。 (食事2回・更衣1回・工作・2回)</p> <p>② 作業療法の支援目標に対し、年間延人数91%、年間診療報酬101%の実績結果となりました。</p> <p>③ グループ支援や外部での支援について綿密な打ち合わせや調整を作業療法士職員間で行うとともに、支援に関するノウハウの共有も行いました。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各種研修会の中止が相次いだものの、オンライン開催での研修会に16回参加しました。 また、長崎大学「子どもの心の医療・教育センター職業実践力育成プログラム—子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム／全40講座—」、川崎医療福祉大学「TEACCH・自閉症支援—自閉症特別講座／全25講座—」にもオンライン形式で参加し自己研鑽に努めました。</p> <p>⑤ 「運動面や巧緻動作の不器用さ」を主訴とする受診前の相談支援を予定していましたが、対象者なしのため実施できませんでした。</p>
(2)	<p>【支援センター内並びに地域の関係機関との連携強化】</p> <p>① 児童発達支援センターすびか及び生活介護事業所宙（そら）の利用児者を対象に、作業療法室を活用した支援（すびか6回、宙7回）を通所部職員と協働で行い、普段は得られない付加価値の高いサービスを提供しました。</p> <p>② 4か所の公立保育所で「遊びの研修」を実施し、保育士と連携強化することで地域福祉の向上に努めました。</p> <p>③ 宮崎市（親子保健課、保育幼稚園課）と連携し、宮崎市保健所でのすこやか広場（計22回）で専門的指導を、また跡江保育所での親子通園で保護者勉強会（計4回）を実施しました。</p> <p>④ 江南地区及び田野地区の母子地域ケア会議において、地域の教育・保育施設職員を対象に講話を行いました。</p>
(3)	<p>【作業療法ノウハウの対外的な情報発信】</p> <p>家庭でも実践できる情報を掲載したコラム「OT だより」をホームページにアップしました（第一号「作業療法とは」、第二号「低緊張」）。</p>

(年間累計人数)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価	202	174	170
訓練	1,651	1,753	1,641
合計	1,853	1,927	1,811

【言語聴覚療法】

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【受診前の家族に対する新たな相談支援の検討】</p> <p>① 言語面を主訴とする初診前の相談支援を11名（内訳は吃音3名、発音5名、難聴1名、摂食嚥下2名）実施しました。</p> <p>② 相談支援の資質向上のために研修会（Web開催を含め19回）に参加しました。また、診療部内での勉強会、ケース検討を行いました。</p> <p>③ 言語聴覚士1名が吃音・小児構音障害専門領域における認定言語聴覚士を取得しました。</p>
(2)	<p>【関係機関との連携強化と各種ニーズに応じた新規事業の創出】</p> <p>① 生活介護事業所宙（そら）の利用者に対し、食事介助など直接的な支援を行いました。また、統一した食事介助が出来るように、職員と検討を重ねながら「摂食状況一覧」の最終案を作成しました。</p> <p>② 児童発達支援センターすびかと年3回のカンファレンスを実施し、情報の共有を図りながら支援内容の充実に努めました。また、発音に関する保護者向け資料を作成し、面談の際に活用してもらいました。</p> <p>③ 連携強化を図るため、言友会（吃音の自助グループ）や宮崎県聴覚・言語障がい教育研究部会の研修（Web開催）に参加しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、外部の福祉事業関係者（宮日ことばの教室、放課後等デイサービスなどに所属する言語聴覚士）との情報交換など連携を図ることが困難でした。</p> <p>④ 吃音や言語面の不安に関する学童期への評価・訓練を7名実施しました。内1名に関しては、ことばの通級担当教員と密に連携をとり支援しました。</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のなか、宮崎市保健所へ職員を派遣し、すこやか広場（18回）、ちびっこランド（6回）、その他（2回）において支援しました。</p> <p>⑥ 人工内耳装用児1名の受け入れ、片側難聴2名の就学に関する聾学校との連携、軽度難聴1名に聾学校が実施している乳幼児教育相談を紹介するなど、難聴児に対し支援の充実に努めました。</p>
(3)	<p>【地域への情報発信】</p> <p>① 家庭でも実践できる情報を掲載したコラム「STだより」をホームページにアップしました（第一、二号「発音が気になる保護者の方へ」）。</p> <p>② 宮崎市地域保健課の地区担当保健師を対象とした研修会に講師として職員を派遣しました。</p>

(年間累計人数)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価	141	165	153
訓練	1,818	1,907	1,583
合計	1,959	2,072	1,736

【心理療法】

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【受診前の相談支援の拡充】</p> <p>① 初診待機中の相談支援として「受診前の家族面談（こあら）」を外来スタッフや地域生活支援部と連携しながら実施しました（93件）。</p> <p>② 受診前の相談支援拡充のために、関係機関のスタッフや地域生活支援部と「初診待機中の相談支援に関する情報交換会」を行いました。</p>
(2)	<p>【センター内外の機関との連携を強化する】</p> <p>① 宮崎市と連携し、宮崎市保健所でのすこやか広場へ職員を派遣（24回）し、専門的な助言を行いました。 また、母子地域ケア会議では、発達支援に関する講義を行いました（1回）。</p> <p>② 教育機関との連携として、宮崎市就学相談委員会への出席や就学相談委員を対象とした講義、中学校でのケース会議の参加を行いました。</p> <p>③ 児童発達支援センターすぴか職員とのカンファレンスは、新型コロナウイルス感染症により個別での申し送りに変更しました（1回）。 また、すぴか全職員を対象とした職員研修を行いました（1回）。</p> <p>④ 心理士が不足している地域への支援として、愛泉会日南病院へ職員を派遣しました（23回）。</p> <p>⑤ 宮崎大学医学部附属病院の公認心理師の見学を受け入れ、情報交換を行いました（1回）。</p>
(3)	<p>【職員の資質向上と心理支援体制の強化】</p> <p>① 心理職研修会へ参加し、支援スキルの向上と近接領域の心理士との連携を図りました（6回）。</p> <p>② 利用者の細かなニーズに応じることを目的に、保護者向けの勉強会「テーマ別講座（中学以降の進路選択、本人への告知、生活の構造化）」を実施しました（3回）。</p> <p>③ 刷新されていく知見に合わせた診療が提供できるように、改定された最新の心理検査を導入しました。</p> <p>④ 「おおぞらセミナー」では、幼児期の支援に関わる地域の関係機関の職員を対象に、幼児期における発達支援について情報発信を行いました。</p>

(年間累計人数)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価	1,266	1,306	1,325
訓練	1,092 (213)	1,015 (125)	1,142 (174)
合計	2,358	2,321	2,467

※内数は初期療育（いるかグループ）及び集団療育（くじらグループ）の実績人数

【 障がい児通所部 】

〔児童発達支援センター すぴか〕

1. 《運営方針》

- ① 発達が気になる、または障がいのある幼児に対し、家庭や関係機関と連携を図りながら効果的な指導を行う。
- ② 諸活動や集団でのあそびを通して、健康で安全な日常生活を送るための体力や基本的な生活に必要な力をつけることなど、将来豊かな社会生活を送る基礎作りとなる療育を行う。
- ③ 身の回りのことに興味を持ち、具体的な事物や事象とことばを結びつけ表現する力を養う。
- ④ 障がいの重度・重複化や多様化に対応するため、職員の研修などにより専門的な機能の強化を図るとともに、地域の子どもたちの生活を支援できるよう、保育所等からの研修の受け入れや情報発信を行う。

2. 重点目標

	項 目	目標年度					実 績
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
(1)	日々の登園や支援計画書等を通して、子どもの発達や健康状態について家庭と共通理解を図り、保護者と共に子どもの育ちを支援する療育環境づくりを行う						<ul style="list-style-type: none"> ・親子保育を毎週金曜日実施 ・面談及び相談を随時実施 ・保護者学習会を年2回実施
(2)	障がいの多様化に対応できるよう、他職種や教育機関との連携を図り、より専門性の高い支援を展開する						<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修の参加 ・内部研修年4回の実施 ・診療部職員や教育機関との連携の強化
(3)	子どもが安全にセンターに通い、あそびや生活ができるよう、送迎を含む環境の点検や整備に努める						<ul style="list-style-type: none"> ・防災担当者会議の年6回実施 ・外部講師による防災研修の実施(年1回) ・環境整備点検の実施(年12回) ・車両送迎の安全管理体制整備
(4)	積極的に地域の資源を活用し、子どもの生活経験の幅を広げると共に、地域との交流を促す						<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の積極的な活用 ・地域の事業所等との連携
(5)	地域で暮らす子どもたちの生活を支援できるよう、保育所等からの研修や実習を積極的に受け入れ、障がいの理解や支援についての情報発信を行う						<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れ増 (宮崎県主催保育体験研修年2回実施、宮崎市公立保育所医療的ケア保育体験研修年2回実施)

3. 重点施策・事業（実施項目）

		重点施策の実施状況				
(1)	<p>【家庭と連携した療育体制づくり】 新型コロナウイルス感染症防止のため、予防並びに安全を重視したうえで、園児や保護者への影響を最小限に抑えながら事業活動を行いました。 宮崎県発出の医療緊急警報以上の状況下では、親子保育を中止し、行事は感染対策を行った上で規模を縮小して実施しました。</p> <p>① 個別指導計画とその見直し（6か月ごと）について、職員間で密に協議し、実態に即した計画作成を行いました。また、必要に応じて保護者面談を実施しました。</p> <p>② 親子保育（毎週金曜日）及び各種行事を実施し、保護者との情報共有や学習の場を設けました。</p> <p>③ 保護者学習会においては、5月「就学ガイダンス」、6月以降「支援学校見学会、地域小学校支援級見学引率」、7月「卒園児保護者の話を聞く会（父母の会主催）」を実施しました。</p> <p>④ 児童発達支援事業所評価保護者アンケートを実施し、「支援満足度」については以下のような結果となりました。</p>					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		事業所の支援満足度	86%	91%	96%	
		⑤ 親子で参加した年間行事を以下のとおり実施しました。				
			月	行事名	内容	人数
			5	春の親子遠足	園外活動に変更 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各グループの日程を分散して実施	79
			7	七夕	七夕飾りつけ ※人数制限し時間を分けて2回開催	84
				夏祭り	中止 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園児及び職員のみで「夏祭りごっこ」を実施	—
			10	うんどう会	かけっこやリズムなどを発表 (宮崎市立榎北小学校体育館)	193
			12	もちつき	もちつき体験 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園児、職員のみで実施	57
		おたのしみ会		見ること・聞くことを中心に子ども、保護者参加型で楽しめる会	88	
		3	お別れ遠足	親子遠足（フローランテ宮崎） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため園内遠足に変更し園児と職員のみで実施	117	
			卒園式	卒園児：15人	99	
		※人数には参加されたご家族等を含む。				

<p>(2)</p>	<p>【診療部や教育機関と連携した療育】</p> <p>① 診療部職員が定期的に保育や食事場面に参加し、支援方法（発達支援・家庭支援）について、以下のとおり協議・連携を行いました。</p> <table border="1" data-bbox="416 271 1385 557"> <thead> <tr> <th>指導の形態</th> <th>頻度</th> <th>連携したセラピスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい種別保育</td> <td>毎週月曜日</td> <td>理学療法士、作業療法士、言語聴覚士</td> </tr> <tr> <td>グループ別集団指導</td> <td>月 2 回</td> <td>理学療法士、作業療法士、言語聴覚士</td> </tr> <tr> <td>摂食指導</td> <td>毎週火曜日</td> <td>言語聴覚士</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 作業療法士と連携し、作業療法室を使用した活動を実施しました。</p> <p>③ 関係機関との連携として、宮崎県立明星視覚支援学校との定期的な情報共有や、就学を迎える児童を対象に引継ぎを実施しました。</p>	指導の形態	頻度	連携したセラピスト	障がい種別保育	毎週月曜日	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	グループ別集団指導	月 2 回	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	摂食指導	毎週火曜日	言語聴覚士
指導の形態	頻度	連携したセラピスト											
障がい種別保育	毎週月曜日	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士											
グループ別集団指導	月 2 回	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士											
摂食指導	毎週火曜日	言語聴覚士											
<p>(3)</p>	<p>【安全・危機管理に関すること】</p> <p>① 遊具や保育環境の点検を毎月行い、危険個所の修繕等を行いました。</p> <p>② 毎月、ヒヤリハット・事故報告書を作成し、事故の発生要因の分析を行いました。軽微な事故も報告対象とし、重大事故の発生予防に努めました。</p> <p>③ 支援センター内の各部門と連携し、防災委員会の充実を図りました。</p> <p>④ 月 1 回、緊急時想定訓練を実施しました。（地震、津波、火災想定、アレルギー、救命研修、バス訓練（発作、園外保育時の被災想定）、不審者対応など）</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症の防止に努め、感染対策の見直しも行いました。</p> <p>⑥ 保護者への緊急時連絡ツール「マチコミ」を使って、地震、津波想定訓練時にメールを配信しました。</p> <p>⑦ バス送迎時の安全管理の徹底及び置き去り事故を起こさないために、チェックシート作成し職員全体での確認体制を見直しました。</p> <p>⑧ 3月に外部講師による防災研修を行い、全職員の防災意識向上、地震や津波想定時の対応確認、バス送迎時の被災想定をした図上訓練を行いました。</p>												
<p>(4)</p>	<p>【地域資源（場所・他施設）との関係促進】</p> <p>① 園外保育で公共等の施設を利用する機会を以下のとおり設けました。</p> <table border="1" data-bbox="416 1610 1385 1865"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イオンモール宮崎、県立阿波岐原森林公園、宮崎県防災救急航空センター、市民の森、サンマリーナ宮崎、サンビーチツ葉、赤江ふれあい広場、平和台公園、萩の台公園、新富町図書館、檉北小学校体育館、宮崎市総合福祉保健センター、大淀川学習館、宮崎市フェニックス自然動物園、フローランテ宮崎</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 行事（夏祭り）において、障がい福祉サービス事業所と連携して、子供が喜ぶコーナーを設けました。</p> <p>③ 年間を通して実習生の受け入れを計画しましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、多くが中止となりました。</p>	施設名称	イオンモール宮崎、県立阿波岐原森林公園、宮崎県防災救急航空センター、市民の森、サンマリーナ宮崎、サンビーチツ葉、赤江ふれあい広場、平和台公園、萩の台公園、新富町図書館、檉北小学校体育館、宮崎市総合福祉保健センター、大淀川学習館、宮崎市フェニックス自然動物園、フローランテ宮崎										
施設名称													
イオンモール宮崎、県立阿波岐原森林公園、宮崎県防災救急航空センター、市民の森、サンマリーナ宮崎、サンビーチツ葉、赤江ふれあい広場、平和台公園、萩の台公園、新富町図書館、檉北小学校体育館、宮崎市総合福祉保健センター、大淀川学習館、宮崎市フェニックス自然動物園、フローランテ宮崎													

(5)	<p>【地域資源（研修、実習）との関係促進】</p> <p>① おおぞらセミナーを開催し、児童発達支援事業所、保育所、幼稚園等に対して障がいを持つ子どもの理解に関する研修を行いました。</p> <p>② 年間を通して実習生の受け入れを計画しましたが新型コロナウイルス感染症防止のため中止しました。</p> <p>③ 宮崎県主催の保育体験研修や宮崎市公立保育所医療的ケア保育体験研修を行いました。</p>
-----	--

○日 課

サービス提供時間内（午前8時30分～午後4時30分）で延長療育の希望に応じました。

時 間	内 容
8 : 0 0	送迎バス出発
8 : 3 0 ~	通所
1 0 : 0 0 ~	朝のお仕事、自由あそび
1 0 : 3 0 ~	朝のあつまり
1 1 : 3 0 ~	グループごとの設定保育
1 2 : 0 0 ~	排泄・手洗い
1 3 : 4 5 ~	給食・自由あそび
1 4 : 3 0 ~	グループごとの活動
1 5 : 0 0 ~	帰りのあつまり
1 6 : 3 0	送迎バス出発、延長療育(希望者のみ) サービス終了

○グループ編成 [令和5年3月（卒園及び転園前の在籍児数）]

(単位…名)

クラス名	人 数	職員体制
た い よ う	1 0	5
に じ	1 0	6
ぎ ん が	9	4
ほ し	5	4
か ぜ	6	5
合 計	4 0	2 4

【 障がい者通所部 】

【指定生活介護事業 宙(そら)】

1. 《運営方針》

利用者一人一人の個性に寄り添い、他の利用者や職員と心の交流を図り、健やかで充実した日々を提供しつつ、社会を構成する一人としての存在を実感できるよう支援を行う。また、生活介護の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の立場に立った適切なサービスの提供を行う。

2. 重点目標

	項 目	目標年度					実 績
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
(1)	利用者支援の充実 (日中活動)						<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族のニーズ、本人の強みを活かしながら、様々な日中活動を提供 ※新型コロナウイルス感染症予防のため非接触活動が中心 ・仲間や職員との活動を通じた交流の中で、他者との繋がりや関係性の構築の場を提供
(2)	利用者支援の充実 (生活支援)						<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合わせた、安全な支援方法で利用者が安心して生活できる場を提供 ※部内での研修報告、勉強会を毎月実施
(3)	医療的ケアの充実						<ul style="list-style-type: none"> ・重度化に対応した、専門 的な医療的ケアを提供

3. 重点施策・事業(実施項目)

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【利用者の生活の質の向上】</p> <p>① アセスメントや保護者対象の個別面談等を実施(Zoom 面談希望者4名)し、個々の利用者ニーズを把握し、よりよい生活支援の場を提供できるよう努めました。 また、生活の中に楽しみが持てるよう、季節を通じた様々な日中活動を提供しました。</p> <p>② 保護者参加型の行事(季節行事、さつき会、お楽しみ会など)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保護者不参加で実施しました。</p> <p>③ カレー大会(9月に1回実施)や縁日では、活動の中に“口から食べることの楽しみ”を取り入れ、看護師と連携しながら利用者の安全安心に努めました。</p>

(2)	<p>【職員の専門性向上の充実】</p> <p>① 重度の障がい者への支援に対応できるよう、職員指導や職場内研修を毎月実施し、職員の意識向上や資質向上を図りました。 また、また新型コロナウイルス感染症の予防に関する職場内研修を行い、感染防止対策に取り組みました。</p> <p>② 診療部の理学療法士及び作業療法士から支援に関する指導や助言（月1～2回）を受け、職員の技術向上を図りながら統一したケアを行いました。</p>
(3)	<p>【医療的ケアの充実】</p> <p>① 利用者の健康状態を常に把握し、利用者に応じた適切な処置を行い、健康管理に努めました。</p> <p>② 利用者に応じた医療的ケアや適切な処置に努めました。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者及び職員の体調管理（体温、必要時は抗原検査の実施）、室内換気及び消毒の徹底に努めました。また、看護師による感染対策の勉強会を2回行いました。</p>

○ 年間行事

月	行事名	内 容	人 数
4～3	音楽会(年4回)	季節ごとの音楽会を計画、四季折々の歌や音楽、楽器演奏を行う ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止	301
5	さつきウィーク	利用者の作品展示、活動の様子の写真展示 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保護者参加は中止	88
7	縁日	縁日ならではの雰囲気を楽しむ (ひよっとこ、ヨーヨー釣り等) ※飲食は保護者了承のうえ実施	83
9	調理活動(カレー大会)	実際に食材を炒め、混ぜる等のつくる工程を楽しみながら嗅覚や味覚に働きかける活動	17
10	スポーツウィーク	一週間を通し、様々なスポーツを体感する(ゴルフ、ボッチャなど)	86
12	おたのしみウィーク、もちつき	・今年一年を振り返りながら、出し物や楽器演奏を観て楽しむ ・昔ながらのもちつきを見て、餅に触れる	95
1	新春ウィーク、初詣	・かるたや絵合わせを行う ・一ッ葉稲荷神社へ外出 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止	50
2	節分、調理活動	・豆まき ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動内容を変更 ・お菓子づくり	33
3	ひなまつり	お茶会、絵合わせカードや歌、絵本を楽しむ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動内容を変更	17

※人数には参加されたご家族等を含む。

○ 日 課

サービス提供時間内（午前8時30分～午後4時30分）で時間外対応の希望に応じました。

時 間	内 容
8 : 0 0	送迎バス出発
9 : 0 0 ~	通所、健康チェック、生活支援 水分補給
1 0 : 1 5 ~	朝のミーティング
1 0 : 3 0 ~	日中活動 食事の準備
1 1 : 1 5 ~	昼食 口腔ケア
1 3 : 0 0 ~	生活支援・リラックス・午後の活動
1 4 : 5 0 ~	帰りのミーティング
1 5 : 0 0 ~	送迎バス出発、時間外対応(希望者のみ)
1 6 : 3 0	サービス終了

【 地域生活支援部 】

【そうだんサポートセンター おおぞら】

【宮崎市そうだんサポートセンター すぴか】

1. <<運営方針>>

- ① 宮崎市及び広域2町における在宅障がい児・者とその家族が安心して暮らせるように、福祉保健医療サービスの調整を図り、関係機関との重層的な連携により、生活しやすい環境づくりを進める。
- ② 障がい児・者相談支援については、「宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター」として、地域づくりを推進する中核的な相談支援機関の役割を担う。
- ③ 療育の各種支援事業等を展開し、地域のネットワーク化を推進する。
- ④ 地域のニーズ等に伴う新規事業等について検討を行う。
- ⑤ 障害者総合支援法及び児童福祉法の見直しや法律施行に関する国、県及び宮崎市の動向に注視し、障がい児者相談支援や医療的ケア児等支援に関する今後の運営を強化する。

2. 重点目標

	項 目	目標年度					実 績
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
(1)	障がいのある方等の様々な相談に対し情報提供や福祉サービスの利用調整を行い、サービス等利用計画書や障がい児支援利用計画書等の作成						<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成 年 286 人 ・基本相談 年 2,418 件 ・相談支援事業所へのバックアップ 年 204 件
(2)	宮崎市及び広域2町の障がい児者相談支援に係る地域生活支援拠点等整備と虐待防止の推進						<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター評価に準ずる
(3)	障がい児等療育支援事業を円滑に行う						<ul style="list-style-type: none"> ・訪問療育 年 11 件 ・外来療育 年 138 件 ・施設支援 年 10 件
(4)	巡回支援専門員整備事業を円滑に行う						<ul style="list-style-type: none"> ・巡回支援 254 件
(5)	乳幼児期介護者サポート事業を円滑に行う						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
(6)	地域ニーズや制度改革等に伴う新規事業等の実施（受託）については、その必要性や体制上を考慮して取り組む						<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度新規事業について行政や関係機関と整理した上で実績評価
(7)	各種制度に関する情報収集及び整理を行い、障がい児者相談支援や医療的ケア児等支援に関する今後の運営を強化する						<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度新規事業について行政や関係機関と整理した上で実績評価

3. 重点施策・事業（実施項目）

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【地域の相談支援の中核的な役割】</p> <p>基幹センターとして、障がい種別に関係なく、当事者、保護者、支援者等からの総合的な相談に応じました。</p>
(2)	<p>【専門性の高い（複雑困難な）事例への対応】</p> <p>① 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターとして、高い専門性を必要とする事例への対応を行いました。</p> <p>② 障がい児相談支援をより一層推進し、児童がすくすくと育つ環境が整うように、関係機関、事業所及び行政との連携に努めました。</p>
(3)	<p>【計画書作成担当事業所の紹介・案内】</p> <p>利用者や市・関係事業所からの相談に応じ、サービス等利用計画書や障がい児支援利用計画書を作成する指定相談事業所の紹介・案内を行いました。</p>
(4)	<p>【他の指定相談支援事業所への助言】</p> <p>① 宮崎市の相談支援体制の強化を図る取り組みとして、他の指定相談支援事業所に対して専門的な助言等を行いました。</p> <p>② ほかの指定相談支援事業所が抱える困難事例等に同行するなど、後方支援を行いました。</p>
(5)	<p>【研修の企画・開催】</p> <p>宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターの役割である「地域の相談支援体制の強化」を図るため、指定相談支援事業所や各種サービス提供事業所を対象に研修を実施し、地域の人材育成に努めました。</p>
(6)	<p>【療育の相談支援】</p> <p>① 家庭や施設を訪問するなど地域を巡回し、障がい児（気になる子ども）やその家族に対する療育相談を行い、子育て支援センターの巡回相談の支援強化を図りました。また、障がい児（気になる子ども）が通所する施設を訪問し、職員に対する助言等を行いました。</p> <p>② GSV（グループスーパービジョン）の手法を取り入れた支援を行うことで、保育所、幼稚園等の発達支援に係る技術向上を図りました。</p>
(7)	<p>【乳幼児期介護者サポート事業（のびのびくらぶ）の実施】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>② 令和5年度以降の事業実施について、利用者ニーズに合ったプログラム等の再構築を検討しました。</p>

<p>(8)</p>	<p>【宮崎市自立支援協議会との連携強化】</p> <p>① 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターと宮崎市自立支援協議会の連携を強化するため「子ども支援部会」「医療的ケア支援部会」の事務局を担うとともに、その他部会の会議にも積極的に参加しました。</p> <p>② 障がい者を取り巻く課題を共通認識するために、各部会の運営を支援しました。</p> <p>③ 地域の障がい者等の支援体制を充実するため、関係団体等との協力体制の構築に努めました。</p> <p>④ 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターの運営に関して、第4期宮崎市障がい者計画の策定に関する協力の中で意見交換を行いました。</p>
<p>(9)</p>	<p>【関係機関等との連携強化】</p> <p>① 各種事業を円滑に進めていくために、市町村福祉課、教育委員会、児童相談所、医療機関など、各関係機関及び事業所との連携強化を図りました。</p> <p>② 宮崎市民生委員児童委員協議会、中学校区特別支援教育連絡会、宮崎市特別支援教育連携協議会などに出席し、地域の教育、福祉と家庭の連携について推進しました。</p> <p>③ 宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会（MSR）が主催する会議や研修会等の運営に協力し、障がい児者の相談支援体制の強化に努めました。</p>
<p>(10)</p>	<p>【宮崎市総合発達支援センター診療部及び通所部との連携強化】</p> <p>宮崎市、国富町及び綾町による地域支援体制の強化を目的に、診療部及び通所部との合同勉強会や会議（外部評価や地域づくりなど）を企画するなど、各部との連携強化を図りました。</p>
<p>(11)</p>	<p>【医療的ケア児等の相談支援体制の強化】</p> <p>宮崎市等の医療的ケア児及びその家族を地域で支えられるよう連携を図りながら、福祉、医療、教育にまたがる相談支援体制の構築に努めました。</p>
<p>(12)</p>	<p>【運営方針の検討及び強化推進】</p> <p>① 宮崎市第6期障がい福祉計画（宮崎市第2期障がい児福祉計画）などに基づき、障がい児者相談支援に係る地域生活支援拠点等整備や医療的ケア児等支援を推進しました。</p> <p>② 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターとしての役割について、宮崎市自立支援協議会、民生委員・児童委員、自治会など、地域組織への周知及び協力関係の構築を図りました。</p> <p>また、宮崎市特別支援教育連携協議会（教育と福祉に係る連携ガイド作成等）や中学校区特別支援教育連絡会議へ出席するなど、相談支援体制を強化するとともに協力関係の構築を図りました。</p>
<p>(13)</p>	<p>【保育所等訪問支援の実施（児童発達支援センターすぴか）】</p> <p>地域の幼稚園、保育所、認定こども園等に通う子どもが、集団生活の中で安全安心に過ごせるように、また保育や教育の成果を最大限に引き出せるよう保育所等訪問支援の充実を図りました。</p>

- 宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センターにおける相談支援、療育等支援、巡回支援等の実績

(年間件数)

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
障がい者相談支援事業		2, 3 1 5	2, 4 2 9	2, 4 1 8
療育支援事業	訪問療育	5 1	2 5	1 1
	外来療育	5 6	1 1 5	1 3 8
	施設支援	1 1 0	6	1 0
巡回支援専門員整備事業		1 2 4	2 5 3	2 5 4
合 計		2, 6 5 6	2, 8 2 8	2, 8 3 1

- サービス等利用計画書及び障がい児支援利用計画書の作成件数

(年間件数)

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
サービス等利用計画書	新規・更新・変更	1 1 0	9 7	8 1
	モニタリング	5 2	4 3	3 7
障がい児支援利用計画書	新規・更新・変更	2 6 8	2 5 5	2 0 5
	モニタリング	1 4 1	1 1 8	1 0 1
合 計		5 7 1	5 1 3	4 2 4

- 乳幼児期介護者サポート事業「のびのびくらぶ」利用者(児)数

(年間延べ人数)

対 象	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保護者	1 9	2 6	0
乳幼児	1 6	3 5	0
合 計	3 5	6 1	0

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○ 保育所等訪問支援事業利用児数

(年間延べ人数)

対 象	令和2年度	令和3年度	令和4年度
乳幼児	8	0	16
その他児童	0	0	0
合 計	8	0	16

○ 障がい児支援利用計画書の作成件数

(宮崎市そうだんサポートセンターすぴか)

(年間件数)

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
障がい児 支援利用 計画書	新規・更新・ 変更	84	6	50
	モニタリング	71	2	39
合 計		155	8	89

※令和3年度は相談支援専門員が欠員のため4月～2月まで休止、3月より再開

児童館・児童センター

1. ≪運営方針≫

- ①施設の設置目的を果たす運営
- ②安全・安心の確保
- ③公平・平等な運営
- ④快適な施設環境の提供
- ⑤利用者の声を反映した運営
- ⑥地域と協働による運営
- ⑦コスト削減を意識した運営

2. 重点目標

	項 目	目標年度					実 績
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
(1)	利用者数の増加		124,400 人				・令和4年度利用者数合計 94,489人
(2)	小中高生の遊びの場を充実させる ①開館時間を延長しての夜間活動事業や日曜開館の実施		各エリア 単位で 実施				・開館時間の延長をエリア単位で実施 (日曜開館による合同交流会・夜間開館)
	②子ども塾の開講		計画策定 と実施				・色々な技能や知識を持った地域の方々に呼びかけて、昔遊び教室や絵画教室等、地域の方の技能を活かした講座を実施
	③エリア連携事業(エリア内複数館合同行事)の実施		各エリア 単位で 実施				・エリアで連携し、ノルディックウォーキングやプレーパーク(他いちご狩り、電車でgo!)を実施
	④じどうかんクラブの活動		計画策定 と実施				・チャレンジクラブ、ハンドメイドクラブ、ウクレレクラブ等を結成
	⑤中高生企画事業		計画策定 と実施				・中高生の来館促進を目的として、学習を支援する「おたすけ塾」の開催や、中高生が主体となってダンスクラブを結成し、児童館で練習・発表を行った。
	⑥児童館SDGs(ESDを導入した取り組み)		計画策定 と実施 (各館年1 回以上)				・廃材を有効活用した工作や、自然と触れ合う活動、子どもたちがSDGsに関心を持つような取り組みを行った。

(3)	子育て支援の充実を図る ①幼児クラブの活動		計画策定と実施				・乳幼児親子の自主的な活動の支援を目的としてクラブを結成。児童館職員はそのサポートを務めている。
	②イクメン！パパの会の設置と育成		計画策定と実施				・会の設置を目的とし、父親が参加しやすい講座を実施。
	③親子ランチカフェタイム		各館実施				・母親親子の交流促進を目的として、子育て交流ひろば未開設日にランチタイムを実施。
	④新一年生児童館体験事業		各館年1回以上				・幼稚園や保育所の年長児童を児童館に招待し、体験事業を実施
(4)	地域特性を考慮したサービス提供に取り組む ①まちづくり推進委員会等と連携した事業の実施		計画策定と各エリア単位で実施				・地域団体と連携し、史跡巡り（地区振興会）避難訓練（自治会）等の事業を実施
	②地域特性（自然環境、伝統文化等）を活かした事業の実施		各館年1回以上				・地域特性を活かした事業を実施 1 地域の神社や史跡巡 2 古墳探索 3 地域散策
(5)	地域の高齢者の経験を活かした世代間交流事業の実施		4,300人				令和4年度参加人数合計 3,562人 地域の高齢者の方を招き、経験や技能を活かした様々な交流事業を実施 1 卓球等のスポーツ 2 将棋、茶道等の文化活動 3 釜戸ごはん作り等の体験活動 4 門松づくり等の工作

3. 重点施策・事業（実施項目）

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【快適性・利便性の向上と、効果的な広報活動を展開する】</p> <p>① 統括マネージャーによる巡回（各児童館ごと年に2回実施）を行い、利用者の利便性と安全性の向上及び職員のスキルアップのための指導を実施しました。</p> <p>② コロナウイルス感染症予防対策要領（事業団作成）に基づき、利用児（者）に安心して利用してもらえるよう対策を徹底しました。</p> <p>③ ホームページのリニューアルを行い、児童館の一覧性を高めるとともに情報を積極的に開示し、来館促進に繋げる工夫を行っています。</p> <p>④ インスタグラムを用いて時宜に適った広報活動を試みました。今後はインスタグラムの利点をより活かし来館促進に繋げるため、視覚的で予告要素も含む広報活動を展開していく予定です。</p>
(2)	<p>【児童健全育成拠点施設としての取組みの強化】</p> <p>① 開館時間を延長し、新たな利用者拡大に向けた取組みを実施しました。中高生の来館を促進するための夜間開館や、複数館による合同の交流会を実施しました。日曜開館では、平日の児童館利用が困難な乳幼児保護者のためのイベントを行いました。</p> <p>② 夏休み期間中にはさまざまな技能を持った地域の方に依頼を行い、草木染、陶芸等の子ども塾を実施しました。</p> <p>③ エリアで連携し、複数館合同で子育て交流会やノルディックウォーキング、電車で go! 等の連携事業を実施しました。</p> <p>④ 子どもボランティア活動やウクレレクラブ、ハンドメイドクラブ等の活動を実施しました。</p> <p>⑤ 学習支援することで中高生の来館に繋がようと「おたすけ塾」を開催したり、中高生が自主的にダンスクラブを結成し、練習や発表を行いました。また、イベントを通じて文化の理解を深めるとともに、異年齢間の交流や乳幼児に対する接し方を学ぶ機会を設けました。</p> <p>⑥ 廃材を使った工作やごみ拾い活動の他、草木染めを含む自然とふれあう活動や終末処理の汚泥から作られた肥料を活用した作物育成を通して、身近なところから SDGs に関心を持ってもらうよう企画を組み、実施しました。</p>
(3)	<p>【子育て支援拠点施設としての取組みの強化】</p> <p>① 児童館を通じた保護者の自主的な活動のサポートを行い、読み聞かせ会や衣類の整理と譲渡の活動を行いました。</p> <p>② 父親の育児参加や来館促進を目的とした手打ちうどん体験や運動会、芋ほり体験を土曜・日曜に企画・実施しました。父親が来館しやすい講座の企画・拡充を予定しています。</p> <p>③ 乳幼児親子の交流促進や子育て関連の情報を提供するため、親子ランチカフェタイムを設けました。なお、開催にあたっては新型コロナウイルス感染防止策を講じました。</p> <p>④ 近隣の保育所・幼稚園の年長児童を児童館に招待し、読み聞かせやパントマイムの観賞、児童館での遊びを体験してもらいました。小学校就学前に児童館の利用を経験してもらい、その様子を広報として発信することで、児童館の利用促進を図りました。</p>

<p>(4)</p>	<p>【地域特性を考慮したサービス提供の取組みの強化】</p> <p>① 児童館の地域性・拠点性・多機能性を活かしながら、地域団体との協働による事業を展開しました。具体的には、津波の浸水が予想される地域で自治会との連携事業「避難訓練」等を実施しました。</p> <p>② 身近に古墳がある憶地区で「古墳探索」、赤江地区で「小戸之橋ノルディックウォーキング」等の事業に取り組みました。</p> <p>③ 近隣の消防署の見学や防災士の講座、防災マップ作りや非常食作りなど地域住民の協力もいただきながら、防災活動を行いました。通学路を辿りながら防災の観点から地域特性を学ぶとともに、緊急時の連携の強化を図りました。</p>
<p>(5)</p>	<p>【地域の高齢者の経験を活かした世代間交流事業の促進】</p> <p>① 高齢者の知恵や経験を活かし、卓球等のスポーツ、絵画等の文化活動等の体験活動等の工作講座・行事を実施しました。</p> <p>② 児童とともに高齢者宅を訪問し交流を図る高齢者宅訪問や、児童と高齢者が一緒にスポーツを行う事業を実施し、積極的にふれあう機会を設けました。</p> <p>③ 生き生き地域子育て活動応援事業として、高齢者との交流グラウンドゴルフ大会の実施、昔遊びや球技の講師などを依頼しました。</p>
<p>(6)</p>	<p>【児童館・児童センターのあり方の検討】</p> <p>あり方検討会議の報告書をまとめ、今後の取組み案や理想の職員像を整理しました。統括マネージャー巡回や社内外での研修を通して職員の資質向上を図ると共に今後の事業構築に反映させる予定です。</p>

○児童館・児童センター 利用者数

(単位:人)

館名	幼児	小学生	中高学生	保護者他	計	前年度 合計	前々年度 合計
霧島児童館	1,581	6,942	29	2,118	10,670	8,068	6,106
恒久児童館	717	6,651	52	1,167	8,587	5,428	4,742
栄町児童館	2,220	4,418	220	2,123	8,981	6,664	4,664
大島児童館	952	2,994	197	1,169	5,312	4,158	3,564
倉岡児童館	594	1,870	236	708	3,408	1,956	3,200
本郷児童館	725	9,109	150	817	10,801	6,072	8,374
大塚台児童センター	959	2,241	440	1,198	4,838	3,814	2,980
西原児童センター	2,873	1,181	78	2,437	6,569	3,258	2,229
平和が丘児童センター	971	3,939	90	1,241	6,241	4,256	3,272
櫛児童センター	2,076	3,189	130	1,997	7,392	4,972	3,982
木花児童センター	754	9,996	55	821	11,626	5,560	5,895
大塚児童センター	3,050	3,670	557	2,787	10,064	6,722	8,079
合計	17,472	56,200	2,234	18,583	94,489	74,300	69,916

《参考》新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館期間

年度	休館期間	休館日数
令和4年度	休館なし	0日
令和3年度	令和3年5月3日(月)～令和3年5月31日(月)	66日
	令和3年8月7日(土)～令和3年9月30日(木)	
令和2年度	令和2年4月7日(火)～令和2年5月24日(日) ※子育て交流ひろばのみ5月12日(火)から再開	61日
	令和3年1月9日(土)～令和3年2月7日(日)	

児童クラブ、巡回児童館、ハロー・キッズルーム

1. <<運営方針>>

児童に適切な遊びや生活の場を与え、発達段階に応じた主体的な遊びと支援を行う。

また、児童の自主性、社会性及び創造性の向上を図り、児童の健全育成を図るとともに、放課後における安全な居場所を確保する。

2. 重点目標

	項 目	目標年度					実 績
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
(1)	発達段階に応じた主体的な遊びの提供 (スポーツ、文化活動、体験活動の企画と実施)		月1回以上の実施				<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた自由あそびや球技のほか、自然とふれあう活動や、季節のイベント、昔からある遊びや文化に触れる活動など多種多様な遊びの企画・実施 外部講師を招き、陶芸教室やけん玉教室、竹とんぼ等の文化活動や体験活動を実施
(2)	児童の社会性、創造性を育む活動の充実 ①集団活動による仲間づくりのプログラム		月1回以上の実施				<ul style="list-style-type: none"> 社会性を育むための交流行事や創意工夫する力を養う遊びを実施
	②児童の創造性を育む遊び、工作の充実		新企画1件				<ul style="list-style-type: none"> 季節の工作や子どもの意見を取り入れた工作の実施
	③SDGsを意識した取り組みの実施		計画策定と実施				<ul style="list-style-type: none"> SDGsに対する理解を深める活動を実施 廃材を使った工作やボランティア活動を行い、身近なところからSDGsを意識する活動を実施
(3)	安全・安心な環境づくり ①安全管理の徹底		安全点検実施(1日1回以上)				<ul style="list-style-type: none"> 1日1回の安全点検(遊具・施設設備等)の実施 避難訓練の実施 緊急時対応を目的とした連絡体制の強化
	②衛生管理の徹底		清掃消毒の徹底(1日1回以上)				<ul style="list-style-type: none"> トイレ清掃や机、玩具の消毒を毎日実施 コロナウイルス感染症予防対策要領に基づく対応の実施

(4)	学校等との連携強化 学校との定期的な情報交換や情報共有を図る		学校訪問				<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上の学校訪問 ・保護者会の実施 ・早帰りの場合の小学校との連携(児童クラブ) ・小学校臨時休業時等における迅速な情報提供経路の確立
-----	-----------------------------------	--	------	--	--	--	---

3. 重点施策・事業（実施項目）

	重点施策の実施状況
(1)	<p>【児童の発達過程を踏まえた育成支援】</p> <p>① 児童が自主的に、かつ発達段階に応じ目標を持って取り組める活動として、けん玉遊びや皿回しに取り組みました。コンテストを開催し練習の成果を披露する機会を設けたり、独自の“称号”制度を導入して児童が意欲的に練習に取り組めるよう工夫しました。</p> <p>② 折り紙やドミノ、皿まわしなど、個人でも集団でも楽しめる遊びを通して、主体性や協調性、成功体験から得られる達成感を育む活動を実施しました。</p>
(2)	<p>【児童の社会性、創造性を育む活動の充実】</p> <p>① 巡回児童館では、児童館でどのような活動を行うのかを知ってもらい今後の来館に繋げてもらうため、工作と射的のイベント(レクリエーション)を開催しました。また、「くるくるへようこそ」と銘打って4月中旬から下旬にかけて実施しました。</p> <p>② イベントやゲームを通して社会性や協調性を養う活動を実施しました。</p> <p>③ ブロックを使った遊びや指編みマフラー作り、紙コップでの万華鏡作りなど、子どもの創造性や集中力を育む活動を行った。</p> <p>④ 年度末には進級や卒業を意識した実用的な制作物を作成しました。廃材を活用し、発達段階に合わせた作品を完成させることで達成感を得るとともに、下級生にとっては上級生の発想力や制作力を見る機会となり、今後の活動の意欲増進に繋がる結果となりました。</p> <p>⑤ 牛乳パックやペットボトルを使った工作やエコバック作りといった制作活動のほか、ごみ拾い活動を行いました。また、子どもたちのSDGsに対する関心を高める活動として、SDGsの目標を記載したサイコロを振り、その項目について子どもたちで話し合ってもらった活動も行いました。</p>
(3)	<p>【安全安心な環境づくり】</p> <p>① 危険個所や遊具等の日常点検を行い、「来所・帰宅時の安全確保マニュアル」に基づいた対応を行いました。</p> <p>② 「新型コロナウイルス感染症予防対策要領」(事業団作成)にもとづく対応を行いました。</p> <p>③ 緊急時対応時における保護者との連絡ツールとして、マチコミメールを導入し、運用しました。</p>
(4)	<p>【学校との連携強化を図る】</p> <p>施設便りや行事予定表を学校へ届けるとともに、各児童クラブでの状況を定期的に学校へ伝え、情報交換を積極的に行いました。</p>

- 倉岡児童クラブ、倉岡第二児童クラブ、住吉児童クラブ、住吉第三児童クラブ、巡回児童館、ハロー・キッズルーム 利用者数

(単位：人)

事業名	令和4年度	前年度合計	前々年度合計
倉岡児童クラブ	1,791	2,493	3,611
倉岡第二児童クラブ	8,108	7,731	7,741
住吉児童クラブ	13,457	13,111	12,430
住吉第三児童クラブ	5,282	6,223	5,865
巡回児童館 (1号車・2号車)	6,514	4,855	6,239
ハロー・キッズルーム	10,225	5,569	5,199
合計	45,377	39,982	41,085

《参考》新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館期間 (巡回、ハローのみ)

年度	休館期間	休館日数
令和4年度	令和4年5月13日(金)～令和4年5月27日(金)	巡回18日
	令和4年7月8日(金)～令和4年9月30日(金)	
	令和5年1月13日(金)～令和5年1月27日(金)	
令和3年度	令和3年5月6日(木)～令和3年5月31日(月)	巡回67日 ハロー66日
	令和3年8月6日(金)～令和3年9月30日(木) ※ハロー・キッズルームは8月7日(土)から休館	
令和2年度	令和2年4月7日(火)～令和2年5月24日(日)	巡回 ハロー 61日
	令和3年1月9日(土)～令和3年2月7日(日)	

老人福祉センター・老人いこいの家

1. ≪運営方針≫

- ① 施設の設置目的を果たす運営
- ② 安全・安心の確保
- ③ 公平・平等な運営
- ④ 快適な施設環境の提供
- ⑤ 利用者の声を反映した運営
- ⑥ コスト削減を意識した運営
- ⑦ 地域と協働による運営

2. 重点目標

	項 目	目標年度					実 績
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
(1)	施設の利用促進		目標人数 94,100 人				・令和4年度利用者数 45,348 人
(2)	健康づくり機能の強化 ①介護予防講座 ②認知症予防講座 ③フレイル予防講座		目標人数 184 人 (前年増加 率 2.5%)				<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度参加者数 998 人 ・宮崎大学医学部と連携したロコモ講座等を実施 ・宮崎県立看護大学による健康講座（ひむかアカデミア）を実施 ・介護予防を目的としたヨガ講座や口腔ケア講座を実施 ・フレイル予防を目的としたスローエアロビック講座等を実施 ・近隣病院のトレーナーによる介護予防運動を実施 ・近隣の地域包括支援センターによる介護予防講座を実施
(3)	生きがいづくり支援の強化 ①教養講座の開催		目標人数 184 人 (前年増加 率 2.5%)				<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度参加者数 503 人 ・スマホ講座、手話、遺言について等の学習系講座を実施 ・寄せ植え教室等の園芸講座を実施 ・色彩カウンセリング、パンフラワー講座、ハンコ作り講座、アロマストーン等の美術・工作系講座を実施 ・3B体操、リズム体操、ヨガ、スポーツ教室等の運動系講座を実施
	②講座修了生のクラブ結成		講座実施				<ul style="list-style-type: none"> ・新規クラブ 2 団体結成 ・フラダンスクラブ、民謡クラブ
	③ボランティアセミナーの開催		年 1 回 開催				<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市社会福祉協議会に依頼するが休館となったため中止

(4)	地域との協働 ①自治会等の連携した事業実施 ②館外活動（出張老人福祉センター等の実施）		年1回以上実施			<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治会との防災訓練実施 1件 ・近隣保育園との交流会実施 2件 ・近隣自治会との協働による出張老人福祉センター開催に向けた協議を実施 ・広報誌（施設だより）を近隣自治会へ配布
(5)	就労機能の強化 ・セミナー開催		年1回開催			<ul style="list-style-type: none"> ・年2回実施 ・宮崎市シルバー人材センターとの協働によるお仕事説明会を開催 ・みやざき女性高齢者就業支援センターとの協働による就業相談会を開催
(6)	相談業務の充実		目標人数 750人			<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度健康相談 279人

3. 重点施策・事業（実施項目）

重点施策の実施状況	
(1)	<p>【施設の利用促進】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市の方針による臨時休館（令和4年8月12日（金）～令和4年9月21日（水））を行いました。 また、感染拡大防止の対策として、浴槽利用の人数制限、歌唱系・吹奏楽系サークルへの自粛要請、イベントの規模縮小、敬老会の中止等により利用者数の目標人数が48,752人達しませんでした。</p> <p>② 昨年度実施した利用者アンケートの結果をもとに、魅力ある教養講座及び健康づくり講座の事業に取り組みました。</p> <p>③ 広報活動の強化を目的にホームページのリニューアルを行い、施設便りやイベント案内チラシ等をタイムリーに発信しました。</p>
(2)	<p>【健康づくり機能の強化】</p> <p>高齢者の健康寿命の延伸を目的に様々な健康づくり事業を展開しました</p> <p>① 宮崎大学医学部と連携したロコモ講座・検診を行いました。</p> <p>② 宮崎県立看護大（ひむかアカデミア）へ依頼し、転倒予防や加齢への備えなどの介護予防講座を実施しました。</p> <p>③ 介護予防を目的としたヨガ講座や口腔ケア講座、フレイル予防を目的としたスローエアロビック講座を実施しました。</p> <p>④ 近隣病院のトレーナーによる介護予防運動を定期的に行いました。</p> <p>⑤ 近隣の地域包括支援センターによる介護予防講座を実施しました。</p> <p>⑥ 認知症予防を目的に施設職員による脳トレを積極的に行いました</p> <p>⑦ 宮崎市地域包括ケア推進課による健幸運動教室を各施設で行いました</p>

(3)	<p>【生きがいづくり支援の強化】 高齢者が知識・技術を習得できるような人気教養講座（学習、園芸、音楽、美術・工作、運動など）を展開しました。</p> <p>① スマホ講座、手話、遺言について等の学習系講座や寄せ植え教室等の園芸講座を複数回実施しました。</p> <p>② 色彩カウンセリング、パンフラワー講座、ハンコ作り講座、アロマストーン等の美術・工作系講座を複数回実施しました。</p> <p>③ 3B体操、リズム体操、ヨガ、スポーツ教室等の運動系講座を実施しました。</p> <p>④ 民謡体験講座や弦楽器演奏会などの音楽系講座（イベント）を実施しました。</p>
(4)	<p>【地域との協働】</p> <p>① 近隣自治会との防災訓練を実施しました。</p> <p>② 近隣自治会との協働による出張老人福祉センター開催に向けて協議を行いました（R5年度の実施に向けて自治会と調整中）</p> <p>③ 広報誌（施設だより）を近隣自治会へ配布し、新規利用者の確保に努めました。</p> <p>④ 近隣保育園との世代間交流を行いました。</p>
(5)	<p>【就労機能の強化】</p> <p>① 宮崎市シルバー人材センターとの協働による「お仕事説明会」を開催しました。</p> <p>② みやざき女性高齢者就業支援センターとの協働による就業相談会を開催しました。</p>
(6)	<p>【相談業務の充実】</p> <p>① 高齢者の疾病予防等を目的に、看護師による健康相談を全施設で実施しました。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館等の影響や、新規相談の予約が伸び悩んだことにより、相談者数は目標人数に対して471人達しませんでした。</p>
(7)	<p>【高齢者施設のあり方の検討】 あり方検討チームが施設の現状、課題、対応策を報告書にまとめ今後の活動計画（案）などの方針を策定しました。</p>

○ 老人福祉センター・老人いこいの家利用者数

(単位:人)

施設名	男	女	計	R3年度 合計	R2年度 合計
南部老人福祉センター	9,398	10,761	20,159	15,925	18,602
赤江老人福祉センター	5,327	8,505	13,832	9,518	11,683
跡江老人いこいの家				3,135	3,937
住吉老人いこいの家	228	3,429	3,657	2,530	2,615
古城老人いこいの家	4,145	3,555	7,700	5,015	5,965
合計	19,098	26,250	45,348	36,123	42,802

※跡江老人いこいの家は令和3年度末で閉館

○ 各種サークル参加人数

(単位：人)

サークル	R4 年度合計	R3 年度合計	R2 年度合計
囲 碁	2,799	2,989	3,882
将 棋	0	0	81
舞 踊	10	75	132
茶 道	89	42	31
カラオケ	2,509	1,377	2,709
体 操	7,562	4,913	6,993
グランドゴルフ	4,049	3,240	3,166
<small>まっこうほう</small> 真向法 (ヨガ)	698	538	559
卓 球	2,294	2,048	2,087
その他	5,693	4,355	3,644
合 計	25,703	19,577	23,284

《参考》新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館期間

年 度	休 館 期 間	休館日数
令和4年度	令和4年8月12日(金)～令和4年9月21日(水)	41日
令和3年度	令和3年5月3日(月)～令和3年5月31日(月)	108日
	令和3年8月6日(金)～令和3年9月30日(木)	
	令和4年1月17日(月)～令和4年3月6日(日)	
令和2年度	令和2年4月7日(火)～令和2年5月24日(日)	90日
	令和2年7月28日(火)～令和2年8月31日(月)	
	令和3年1月9日(土)～令和3年2月7日(日)	

6 その他

(1) 実習生等の受入（宮崎市総合発達支援センター）

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の予防条件（基準）を満たした実習のみ受け入れました。

実習・研修項目	学校・団体名	人数
診療・療育	宮崎大学医学部(宮崎市)	31
療育	宮崎県こども政策課(宮崎市)	9
理学療法	九州看護福祉大学(熊本県玉名市)	4
理学療法	宮崎リハビリテーション学院(宮崎市)	1
言語聴覚	九州保健福祉大学(延岡市)	1
言語聴覚	宮崎保健福祉専門学校(宮崎市)	1
作業療法	九州保健福祉大学(延岡市)	2
作業療法	熊本保健科学大学(熊本県熊本市)	1
療育	宮崎市子ども未来部保育幼稚園課(宮崎市)	5
診療	宮崎市健康管理部保健医療課(宮崎市)	2
地域生活支援	相談支援事業所 Porter(宮崎市)	1
生活介護	社会福祉法人ゆくり(宮崎市)	4
合計		62

昨年度合計72人

(2) 相談ボランティア（宮崎市総合発達支援センター）

例年、以下の団体より派遣いただいている相談ボランティアの皆様に、診察・訓練中またはその前後の時間において保護者の方々と対話いただいたり、お子さんや兄弟児の方の遊び相手になっていただくなど、ご家族の安心につながるサービスの向上にご尽力いただいておりますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症予防として密を回避するため、相談ボランティアの協力依頼を遠慮させていただきました。

団体名	例年の実施曜日
宮崎市手をつなぐ育成会	水・金
宮崎県自閉症協会 県中央支部	木

(3) 職員の外部派遣（宮崎市総合発達支援センター）※主なもの

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の予防環境を満たした依頼のみ職員を派遣しました。

回数又は月日	職名職種	派遣先	派遣内容
通年	医師 他	宮崎市教育委員会	宮崎市特別支援教育就学相談委員会
通年	障がい者通所部所長	宮崎市障がい福祉課	障がい支援区分認定審査会
通年	地域生活支援部所長	宮崎市障がい福祉課	宮崎市自立支援協議会
年 29 回	医師	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
年 22 回	作業療法士	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
年 26 回	言語聴覚士	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
年 24 回	公認心理士	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
年 17 回	視能訓練士	宮崎市親子保健課	母子保健事業に係る医師等の派遣
年 8 回	作業療法士	宮崎市保育幼稚園課	障がい児保育等に関する実務指導
7. 28	医師	宮崎市教育委員会	上級特別支援教育コーディネーター養成研修
9. 6	障がい者通所部所長	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県医療的ケア児等支援者養成研修
9. 6～ 9. 7	医師	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県医療的ケア児等支援者養成研修
10. 7	言語聴覚士	宮崎市地域保健課	保健師研修会
11. 17	理学療法士	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県医療的ケア児等コーディネーター養成研修
11. 29	作業療法士	宮崎市健康管理部	江南地域ケア会議(母子)

11.1～ 11.2	児童指導員	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県サビ管・児発管基礎研修
1.31	児童指導員	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県サビ管・児発管実践研修
1.31	作業療法士	宮崎市地域保健課	田野地区母子地域ケア会議
2.6	医師	宮崎県精神保健福祉士協会	宮崎県障害者施策推進協議会
3.14	言語聴覚士	宮崎県健康増進課	新生児聴覚検査・療育体制連携強化事業協議会

(4) 職員研修 ※主なもの

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の予防環境を満たしたものの、またはオンライン形式での研修のみ受講しました。

①宮崎市総合発達支援センター

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
9.29	臨床検査技師 看護師	宮崎市民文化ホール	宮崎市	宮崎市医療安全支援センター研修会
9.11	地域生活支援部所長 医療的ケア児等コーディネーター	Web 開催	—	医療的ケア児等支援者オンライン研修
9.29	看護師 生活支援員	Web 開催	—	新型コロナウイルス渦における重症心身障害領域の療育等オンライン研修会
10.13	サービス管理責任者 生活支援員 看護師	Web 開催	—	全国重症心身障害日中活動支援協議会
11.10～ 11.12	センター所長	Web 開催	—	日本児童青年精神医学会総会
10.11	看護師	Web 開催	—	摂食・嚥下指導(基礎・実習)講習会

11月	地域生活支援部所長 相談支援専門員 児童発達支援管理責任者 生活支援員	Web開催	—	宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護研修
12.11	児童発達支援管理責任者 児童指導員	Web開催	—	重症心身障がい児・者への支援
1.17	看護師	宮崎県庁防災庁舎防75号室	宮崎市	特定講師研修周知事業研修会
1.25	診療部職員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	出張ひむかアカデミア 感染症とその予防 災害時の感染症対策
2.7	言語聴覚士	Web開催	—	新生児聴覚検査・療育体制強化事業研修会
2.8	診療部職員	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	出前講座 情報公開・個人情報保護制度について2
2.13～ 2.17	看護師	心身障害児総合医療療育センター	東京都板橋区	重度・重症児者 医療・療育(基礎)講習会
3.1	理学療法士	Web開催	—	呼吸法認定士 認定更新講習会(eラーニング)
2.13～ 3.6	障がい者通所部所長	Web開催	—	宮崎県福祉サービス苦情解決セミナー

②児童館・児童センター等

月日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
4.8	全館長	宮崎市社会福祉協議会	宮崎市	館長研修(館長会) (児童館ガイドライン)
6.3	児童厚生員	Web開催	—	メンタルヘルス研修 (中堅職員)
6.9	児童厚生員	Web開催	—	メンバーシップ研修

6.22	児童厚生員	Web 開催	—	業務効率化のためのタイムマネジメント研修
7.1	児童厚生員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	メンタルヘルス研修 (初任者)
7.14	児童厚生員	宮崎市民文化ホール	宮崎市	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会 (第1回)
9.6～ 9.9	児童厚生員	ホテルマイステイズ 新大阪コンファレンスセンター	大阪府 大阪市	児童厚生員等基礎研修会
9.7	児童厚生員	Web 開催	—	はじめてみよう！予防型プログラム
9.27～ 9.30	児童厚生員	Web 開催	—	宮崎県放課後児童支援員認定資格研修 (第1回)
10.19～ 10.21	児童館館長	新梅田研修センター	大阪府 大阪市	全国中堅児童厚生員等研修会
10.27	児童厚生員	Web 開催	—	支援につなげる障がい理解研修
11.7	全館長	宮崎市社会福祉協議会	宮崎市	館長研修 (館長会) コーチング研修
11.14	児童厚生員	Web 開催	—	タイムマネジメント研修 チームリーダー編
11.24	児童厚生員	宮崎県立図書館	宮崎市	子どもエコチャレンジ認定
11.21～ 11.29	児童館館長 児童厚生員	Web 開催	—	宮崎県放課後児童支援員認定資格研修 (第2回)
12.1	児童館館長 児童厚生員	Web 開催	—	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会 (第2回)
12.2	児童館館長 児童厚生員	Web 開催	—	宮崎県放課後児童支援員・児童厚生員等資質向上研修会 (第3回)

12. 9	児童館館長	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント研修 (管理者向け)
1. 20	児童厚生員	Web 開催	—	問題解決能力 スキルアップ研修
1. 30	児童厚生員	Web 開催	—	予防型プログラム 「活用編・展開編」
2. 1	児童厚生員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	チーム力を高めるコミュニケーショ ン研修
2. 11	児童厚生員	宮崎西池地区交流センター	宮崎市	レクリエーションの楽しさを！
3. 3	児童厚生員	宮崎県企業局県電ホール	宮崎市	男女共同参画視点のアウトドア防 災

③老人福祉センター、老人いこいの家

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
7. 1	看護師	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	メンタルヘルス研修 (初任者)
9. 7	事務員	Web 開催	—	介護現場におけるリスク マネジメント研修
9. 14	事務員	南部老人福祉センター	宮崎市	事務員会 (接遇・マナー研修)
9. 30	事務員	Web 開催	—	認知症の基本理解研修
12. 9	所長	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント研修
12. 20	所長	宮崎市民文化ホール	宮崎市	不当要求防止責任者講習
2. 3	事務員	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	福祉従事者が地域とのつ ながりを考える研修

④本部事務局

月 日	職名職種	研修施設名	開催地	研修名
8.26	事務局長	シーガイア コンベンションセンター	宮崎市	宮崎県経営セミナー前期
11.8～ 11.9	事務局長	宮崎県社会福祉研修センター	宮崎市	福祉職員キャリアパス対応障がい研修課程
11.11	主任	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント研修 (中堅職員向け)
12.9	事務局長	宮崎市総合発達支援センター	宮崎市	ハラスメント研修 (管理者向け)

(5) 避難訓練等の実施状況

①宮崎市総合発達支援センター

実施回数	訓練内容	参加人数
年3回	全職員及び通所利用児者を対象とした総合避難訓練(火災・地震を想定した避難訓練)	約130人/回
月1回	障がい児者通所部職員及び通所利用児者を対象とした緊急対応訓練	約5人/回

②児童館、児童センター等

実施回数	訓練内容	参加人数
月1回	火災等の避難訓練 ※机上訓練含む	約3～53人/施設

③老人福祉センター、老人いこいの家

実施回数	訓練内容	参加人数
年2回	火災等の避難訓練	約6～53人/施設

【別添資料】 令和4年度 宮崎市総合発達支援センター利用状況について(月別)

《診療部》

①相談・調整業務

ア. 来所・電話内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
来 所	26	29	43	64	20	28	31	27	27	30	32	30	387	353
電 話	45	67	75	22	38	60	64	54	46	53	49	59	632	762
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	71	96	118	86	58	88	95	81	73	83	81	89	1,019	1,115

イ. 内容内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
診 療 予 約	26	39	36	25	23	33	35	33	19	23	32	28	352	347
初 診 時 面 接	25	24	33	27	18	28	28	24	25	26	29	25	312	302
医療・福祉支援策等	13	19	24	20	9	16	14	11	9	17	6	19	177	235
他 機 関 ・ 施 設	5	8	13	6	3	10	10	6	11	7	6	8	93	118
集 団 生 活	1	2	6	4	1	0	3	1	3	6	4	1	32	34
家 庭 生 活	0	0	0	1	4	1	3	3	4	2	1	3	22	23
地 域 生 活 支 援 策	1	4	6	3	0	0	2	3	2	2	3	5	31	55
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	71	96	118	86	58	88	95	81	73	83	81	89	1,019	1,115

ウ. 経路内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
医 療 機 関	12	16	8	13	13	14	18	19	15	7	16	18	169	150
保 健 所	18	28	30	24	11	32	21	26	19	23	15	14	261	324
児 童 相 談 所	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	7
学校(教育機関含む)	2	2	2	6	5	3	2	3	3	5	3	1	37	77
保 育 所 ・ 幼 稚 園 等	9	6	11	2	4	2	5	4	3	6	6	4	62	92
福 祉 施 設	5	16	13	5	7	10	13	6	5	8	16	12	116	84
インターネット・母子手帳等	6	5	16	9	3	10	9	5	10	6	11	15	105	78
知 人 ・ 親 の 会	0	1	3	3	1	0	5	0	0	0	2	2	17	18
利 用 者	19	22	35	24	11	17	21	18	17	28	12	22	246	269
そ の 他	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3	16
合 計	71	96	118	86	58	88	95	81	73	83	81	89	1,019	1,115

②外来診療

ア. 診療科目別内訳(累計人数)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
発達外来	初 診	25	22	33	27	19	28	26	24	24	26	28	25	307	298
	再 診	741	736	940	840	824	880	901	881	890	808	873	1,039	10,353	10,831
整 形 外 科		23	21	26	27	18	24	19	18	16	20	16	36	264	264
精 神 科		10	12	12	4	11	11	10	9	12	10	9	12	122	158
耳 鼻 咽 喉 科		1	3	2	3	0	1	0	2	3	0	1	0	16	61
耳 鼻 咽 喉 科 (難聴)		19	15	25	17	27	11	27	14	11	16	18	16	216	261
眼 科		28	24	26	29	24	35	18	24	22	25	24	35	314	331
合 計		847	833	1,064	947	923	990	1,001	972	978	905	969	1,163	11,592	12,204

イ. 訓練別内訳(累計人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
理学療法	208	188	251	207	205	227	225	223	223	217	200	265	2,639	2,580
作業療法	101	107	121	131	113	157	170	181	176	162	182	210	1,811	1,927
言語聴覚療法	112	99	152	137	141	160	154	153	158	123	162	185	1,736	2,072
心理療法	201	211	281	193	170	186	193	191	185	202	223	231	2,467	2,321
視能訓練	47	39	45	44	46	53	38	46	47	45	42	58	550	581
合計	669	644	850	712	675	783	780	794	789	749	809	949	9,203	9,481

ウ. 診療・訓練地域別内訳(累計人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計	
宮崎市	1,333	1,281	1,680	1,472	1,419	1,556	1,580	1,555	1,573	1,456	1,572	1,910	18,387	18,846	
国富町	60	57	87	67	63	83	68	66	61	74	77	71	834	757	
綾町	30	31	29	28	21	33	30	24	28	25	26	21	326	385	
その他	県内	93	108	118	92	95	101	103	120	105	99	103	110	1,247	1,693
	県外	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
合計	1,516	1,477	1,914	1,659	1,598	1,773	1,781	1,766	1,767	1,654	1,778	2,112	20,795	21,685	

エ. 通所部利用児・者支援数(累計人数)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計	
言語聴覚療法	児童発達	0	0	106	42	0	22	67	107	96	0	82	0	522	523
	生活介護	0	0	6	1	0	1	2	2	2	0	2	2	18	41
作業療法	児童発達	0	0	122	45	0	19	68	114	90	0	85	9	552	654
	生活介護	0	0	29	0	0	14	27	35	45	0	17	37	204	251
理学療法	児童発達	0	0	80	18	0	79	112	71	78	0	72	0	510	633
	生活介護	0	0	19	8	0	0	18	35	13	0	13	32	138	301
合計	0	0	362	114	0	135	294	364	324	0	271	80	1,944	2,403	

《通所部》

①在籍児者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
児童発達支援センター すびか	開所日数	15	16	22	18	19	20	20	20	19	19	16	224	225
	利用実人数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480	540
	利用延べ人数	524	521	778	547	598	722	636	677	657	564	635	585	7,444
生活介護事業所 宙(そら)	開所日数	20	19	22	20	19	20	20	20	19	19	21	239	231
	利用実人数	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	540	531
	利用延べ人数	347	340	398	348	331	358	344	347	333	327	329	374	4,176
合計(利用延べ人数)	871	861	1,176	895	929	1,080	980	1,024	990	891	964	959	11,620	12,997

②在籍児者地域別内訳

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
宮崎市	811	817	1,099	832	866	1,014	912	975	921	831	896	899	10,873	12,253
西都市	6	9	7	6	4	7	7	7	6	6	7	6	78	88
国富町	28	14	43	30	35	32	40	18	39	29	38	28	374	380
新富町	26	21	27	27	24	27	21	24	24	25	23	26	295	276
その他	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(利用延べ人数)	871	861	1,176	895	929	1,080	980	1,024	990	891	964	959	11,620	12,997

《地域生活支援部》

①宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
障がい者相談支援事業		221	167	210	154	174	233	230	200	172	241	210	206	2,418	2,429
療育等支援事業	訪問療育	0	0	0	2	1	1	1	2	3	1	0	0	11	25
	外来療育	12	17	7	15	13	9	10	12	8	9	14	12	138	115
	施設支援	1	0	1	2	1	1	1	0	0	0	1	2	10	6
巡回支援専門員整備事業		12	20	24	22	17	22	25	27	19	21	23	22	254	253
合計		246	204	242	195	206	266	267	241	202	272	248	242	2,831	2,828

②サービス等利用計画書及び障がい児支援利用計画書 作成実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
計画相談支援	新規更新・変更	7	10	3	7	6	12	5	6	3	3	9	10	81	97
	モニタリング	1	2	2	1	6	0	3	3	0	3	8	8	37	43
障がい児相談支援	新規更新・変更	20	14	23	18	11	15	19	17	13	13	9	33	205	255
	モニタリング	8	7	7	7	7	11	10	14	3	8	9	10	101	118
合計		36	33	35	33	30	38	37	40	19	27	35	61	424	513

③乳幼児期介護者サポート事業(延べ人数)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
乳幼児期介護者サポート事業	保護者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
	乳幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61

④保育所等訪問支援事業(延べ人数)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
保育所等訪問支援事業	乳幼児	0	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	16	0
	その他児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	16	0

⑤そうだんサポートセンターすぴか 障がい児支援利用計画書 作成実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度合計
障がい児相談支援	新規更新・変更	2	2	0	1	0	4	3	10	6	3	6	13	50	6
	モニタリング	1	2	9	8	5	4	2	2	2	2	2	0	39	2
合計		3	4	9	9	5	8	5	12	8	5	8	13	89	8